

# 和歌山県精神保健福祉センター所報

(平成 29 年度実績)



和歌山県 PR キャラクター  
きいちゃん

## 和歌山県精神保健福祉センター

# 目 次

## I 和歌山県精神保健福祉センターの概要

1 沿革	-----	1
2 業務の概要	-----	1
3 職種別職員構成	-----	2
4 施設の概要	-----	2

## II 平成29年度 事業実績

1 技術指導・技術援助	-----	3
2 教育研修	-----	6
3 普及啓発	-----	7
4 その他の事業	-----	8
5 自殺対策情報センター事業	-----	9
6 ひきこもり地域支援センター事業	-----	10
7 薬物依存症対策	-----	12
8 精神保健福祉相談	-----	13
9 精神医療審査会	-----	15
10 精神障害者保健福祉手帳及び 自立支援医療支給認定に関する事務	-----	16
(表1)精神障害者保健福祉手帳交付者数	-----	16
(表3)自立支援医療(精神通院)受給者証交付状況	-----	17

## III 資料

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧	-----	18
--------------------	-------	----

# I 和歌山県精神保健福祉センターの概要

1 沿革

2 業務の概要

3 職種別職員構成

4 施設の概要

# I 和歌山県精神保健福祉センターの概要

## 1 沿革

精神保健福祉センターは、精神保健福祉法に基づいて、都道府県における精神保健及び精神障害者の福祉に関する総合的技術センターとして、知識の普及を図り、調査研究並びに相談業務を行い、精神保健福祉の関係機関に対する技術指導・技術援助を行うものである。（「精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律」昭和25年5月1日法律第123号の第6条）

昭和39年11月	「精神衛生相談所」を和歌山県立医科大学附属病院内設置
昭和56年4月	「精神衛生センター」に名称変更 和歌山県立五稜病院に移転
昭和63年7月	「精神保健センター」に名称変更
平成7年7月	「精神保健福祉センター」に名称変更
平成10年12月	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛に移転
平成11年4月	精神保健福祉相談員・保健師1名ずつ増員（常勤職員数4人体制）
平成14年4月	事務職員1名増員（常勤職員数5人体制）
平成18年4月	事務職員2名、社会福祉職1名増員（常勤職員数8人体制）
平成19年4月	保健師・社会福祉職1名ずつ増員、精神保健福祉相談員・事務職1名ずつ減員
平成20年4月	保健師1名減員（常勤職員数7人体制）
平成21年4月	保健師1名増員（常勤職員数8人体制）

## 2 業務の概要

### (1) 企画立案

地域精神保健を推進するため、県の精神保健福祉主管部局及び関係機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進や、地域の精神保健施策の推進に関する事項等について提案、意見具申等を行う。

### (2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町村等の関係機関に対し、専門的立場から積極的な技術指導及び技術援助を行う。

### (3) 教育研修

保健所、市町村等の関係機関で精神保健福祉業務に従事する職員を対象に、その資質の向上を図るため、専門的な教育・研修を実施する。

### (4) 普及啓発

一般住民に対し精神保健福祉や精神障害についての知識、権利擁護等について普及啓発を行うとともに、保健所及び市町村が行う普及啓発活動に対して協力、指導及び援助を行う。

### (5) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進、精神障害者の社会復帰の促進等に関する調査研究を行い、必要な統計及び資料を収集し、保健所や市町村が行う精神保健福祉活動が効果的に展開できるよう資料を提供する。

### (6) 精神保健福祉相談

自死遺族ケア、ひきこもりをはじめとする思春期の特定相談を含め、精神保健福祉全般の相談（特に複雑または困難なもの）を実施する。

### (7)組織育成

家族会、患者会等県単位の組織の育成に努めるとともに、地域単位の組織の活動に協力する。

### (8)精神医療審査会

入院中の者等からの退院請求や処遇改善請求に対する調査・審査を実施し、患者の適正医療と人権の確保を図っている。

### (9)精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療(精神通院医療)の判定及び交付・承認事務

精神障害のため、日常生活又は社会生活に支障のある方を対象に、医療や福祉の支援を受けやすくすることを目的とした「精神保健福祉手帳」の判定・交付事務を行っている。

精神障害者の通院医療を促進し、早期治療・早期退院・再発防止等適正な医療の普及を図るため、通院医療に要する費用について公費負担制度を実施しており、それに伴う判定・承認等の業務を実施している。

### 3 職種別職員構成

平成30年3月31日現在

	医師	精神保健福祉士	保健師	臨床心理士	福祉職	事務職	計
常勤	1	1	2	1	1	2	8
非常勤	4						4
計	5	1	2	1	1	2	12

### 4 施設の概要

#### (1)所在地

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号  
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階

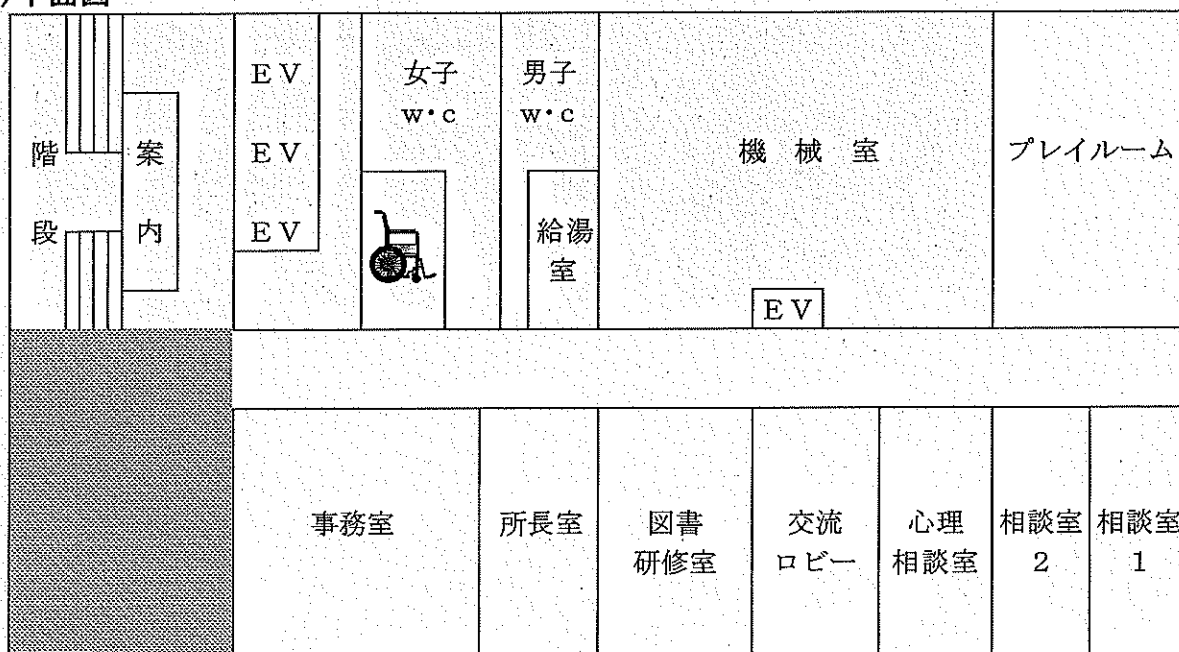
電話 073-435-5194

FAX 073-435-5193

#### (2)建物の状況

12階建て鉄筋コンクリート造り県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階に入居  
 占有面積 310.66 m<sup>2</sup>

#### (3)平面図



\*EV:エレベーター

## Ⅱ 平成29年度 事業実績

- 1 技術指導・技術援助
- 2 教育研修
- 3 普及啓発
- 4 その他の事業
- 5 自殺対策情報センター事業
- 6 ひきこもり地域支援センター事業
- 7 薬物依存症対策
- 8 精神保健福祉相談
- 9 精神医療審査会
- 10 精神障害者保健福祉手帳及び  
自立支援医療支給認定に関する事務

## Ⅱ 平成29年度 事業実績

### 1 技術指導・技術援助

地域精神保健活動を推進するため、保健所及び関係機関に対し、研修会の講師や会議での助言等の技術指導及び技術援助を行った。

#### (1) 関係機関別・内容別支援件数

関係機関に対して精神保健福祉に関する技術指導・援助及び組織育成を行った（講演除く）。

関係機関	技術指導・援助の内容別件数(延件数)											計
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	犯罪被害	その他	
保健所				1		2		1	4		6	14
市町村						2	1	1	1		2	7
福祉事務所												
医療施設							1	1			4	6
介護老人保健施設												
障害者支援施設			1	1				1				3
社会福祉施設								4				4
その他			13	2	18		1	1	3		16	54
計			14	4	18	4	3	9	8		28	88

#### (2) 組織育成

	対象					
	患者会	家族会	断酒会	職親会	その他	計
支援件数	2	12			13	27

#### (3) 会議等

内 容	出席回数
和歌山県自立支援協議会	3
大規模地震医療活動訓練会議	6
和歌山県立医科大学附属病院人権擁護委員会	2
子ども若者支援地域協議会代表者会議	1
アウトリーチ連絡会議	5
精神保健福祉審議会	2
精神障害者地域移行関連連絡会議	4
相談ネットワーク和歌山担当者会議	1
和歌山県自殺対策担当者会議	2
平成29年度都道府県地域自殺対策推進センター等関西ブロック会議	1
平成29年度DV被害者支援ネットワーク会議	1
発達障害者支援地域協議会	1
ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会	2
全国精神医療審査会連絡協議会	2
和歌山県人権相談ネットワーク協議会	1
精神科救急医療体制連絡委員会	1
事業所集団指導及び障害保健福祉行政等に係る説明会	1



高次脳機能障害に関する検討会	1
犯罪被害者等支援研修会	2
和歌山県公衆衛生学会	1
弁護士相談	1

#### (4) 委嘱・委員等

内 容
和歌山県障害者社会参加推進協議会
発達障害者支援体制整備検討委員会
和歌山県立医科大学附属病院こころの委員会
和歌山産業保健総合支援センター運営協議会
和歌山県高次脳機能障害事業検討委員会
福祉サービス利用援助事業契約締結審査会

#### (5) 講演講師等

内 容	対 象	主 催
「精神保健センターの業務について」	市町村保健師59名	市町村保健師協議会
薬物事犯対象者の引受人・家族会座談会	引受人、家族6名	和歌山保護観察所
周産期等の女性にやさしい災害対策研修会 「災害時の心のケア～妊産婦、乳幼児と母親への支援を中心に」	助産師、看護師、保健師 50名	徳島県美馬保健所
日本学校教育相談学会第29回総会・研究大会公開記念シンポジウム 「大人への移行のための[学び]ー移行支援としての教育の可能性」	教職員等 200名	日本学校教育相談学会
精神障害者家族会つばさの会研修会「相談の受け方」	精神障害者家族15名	つばさの会
和歌山市精神保健福祉業務担当者連絡会議 定例学習会「和歌山における自殺対策の取り組み」	精神保健福祉に関する 職員30名	和歌山市保健所
薬物問題と向き合うー薬物乱用・依存者への対応ー	保護司 42名	日高保護司会
児童館・学童クラブ等職員研修会 「思春期の子どもと親の関係性-愛着が導く子育てのゴール」	児童館・学童クラブ等職 員200名	東京都児童館等連絡協議会
地域精神保健福祉連絡協議会「災害時の心のケア」	連絡協議会委員等20名	徳島県美波保健所
災害時自殺予防関係者研修会「災害時の心のケア」	精神保健医療保健関係者 等30名	徳島県美波保健所
和歌山県専門里親更新研修会 「思春期の子どもと親の関係性」	専門里親5名	里親支援センター 「なでしこ」
保護者学級研修会「思春期の子どもと親の関係性～愛着が導く子育てのゴール」	保護者20名	県立たちばな支援学校
薬物事犯対象者の引受人・家族会座談会	引受人・家族 3名	和歌山県保護観察所
宮古地区ひきこもり支援地域連絡協議会 「ひきこもりの理解と対応」	関係機関職員30名	沖縄県立総合精神保健福祉 センター
ひきこもり家族のための講演会 「ひきこもりの方を支えるために家族ができること」	ひきこもり家族等60名	沖縄県立総合精神保健福祉 センター
紀の国防災塾「災害時のこころのケア」	那智勝浦町一般住民50名	県防災企画課
紀の国防災塾「災害時のこころのケア」	和歌山市一般住民80名	県防災企画課



岡山県児童福祉司任用後研修会 「増え続ける心理的虐待にどう向き合うか」	児童福祉司40名	岡山県福祉相談センター
発達障害と高校教育、インクルーシブ教育の現状を 考える会「思春期の育ちと高校教育～なぜみんな高 校に行くんだろ？～」	教育関係者、 一般市民100名	北星学園余市高等学校
和歌山県共同作業所連絡会第2期「次世代を担う職員 育成プロジェクト【健康と医学】」	作業所職員10名	和歌山県協同作業所連絡会
薬物問題と向き合うー薬物乱用・依存症への対応	保護司42名	和歌山保護司会東支部
第32回いばらき発達障害研究会「発達障害に伴う情 緒行動の問題への合理的な治療介入を目指して」	医療・教育関係者60名	いばらき発達障害研究会
京都市こころのサポート地位活動助成事業講演会 「ひきこもりの若者はなぜ生きづらいのか？」	一般市民・支援者・当事 者等60名	NPO法人京都ARU

## 2 教育研修

保健所、市町村、社会復帰施設、精神科医療機関、その他の関係機関で、精神保健福祉業務に従事する職員等を対象として、その資質向上を図るために精神保健福祉に関する専門的な研修を実施した。

### (1) 精神保健福祉関連新任者研修

新しく精神保健福祉業務に従事した者が、精神保健福祉に関する基礎知識を学び、業務に活かしていくことを目的に、業務に従事して概ね3年未満の担当者を対象に2日間にわたり実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
第1日目 平成29年6月21日 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「精神障害者の支援と人権」 講師 大阪人間科学大学 准教授 吉池 毅志 氏	55名
	講義 「相談の受け方」 講師 和歌山心療オフィス 所長 上野 和久 氏	
	講義 「精神疾患と精神障害の理解」 講師 精神保健福祉センター 所長 小野 善郎	
第2日目 平成29年6月22日 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「精神保健福祉施策と関連法について」 講師 精神保健福祉センター 主幹 長島 隆	55名
	講義 「社会資源の活用について」 講師 精神保健福祉センター 主幹 長島 隆	
	講義 「障害福祉サービスについて」 講師 地域活動支援センター 櫻 施設長 中野 千世 氏	

### (2) 精神保健福祉従事者専門研修

精神保健福祉業務に従事する職員の技量を高め、精神保健福祉サービスの向上を図ることを目的に、業務に従事している担当者を対象に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
平成30年1月25日 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講演 「依存症の問題と解決」 講師 池谷 太輔 氏 和歌山ダルク (リカバリーダイナミクスプロバイダー、アドバイザースタッフ)	45名
平成30年1月29日 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講演 「社会参加とアート活動～コミュニティアートの実践より」 講師 島 久美子 氏 (一般社団法人共助のまちづくり協会 理事長)	9名
平成30年2月18日 プラザホープ (和歌山市)	講演 「ギャンブル依存症の回復と支援」 講師 町田 政明 氏 (NPO法人ギャンブル依存ファミリーセンターホープヒル) 体験談 講師 GA利用者 (和歌山GAなごみグループ) 講師 ホープヒル入所者 (NPO法人ギャンブル依存ファミリーセンター ホープヒル)	44名

### (3) 思春期セミナー研修

教育、行政、医療、福祉施設職員等の資質向上をはかることを目的に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
平成29年7月25日 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講演 「大人として生きていくための『学び』～ 『安心して生きていく力』を育む家庭教育の可能性」 講師 中山 節子氏 千葉大学教育学部 准教授	35名

※自殺対策、ひきこもりの研修については、後章に掲載する。

### 3 普及啓発

一般県民や関係機関に対し、精神保健福祉や精神障害についての知識や情報を提供するために、以下のとおり講演会や出版物の作成等、普及啓発を行った。

#### (1) 催し等

##### ① わかやまこころのフェスタ2017

県民のこころの健康の保持増進と、こころの病を持つ人に対する正しい理解を広めることを目的に開催した（ふれあい人権フェスタと共催）。

開催日・会場	内 容	参加者数
平成29年11月11日 ビッグホエール (和歌山市)	ステージイベント (1)「グループ活動紹介」 NPO 法人いぶき福祉会みのり一座 踊り ガーベラズ with ももクリフレンズ コーラス (2) 表彰式 「精神保健福祉協会会長表彰」 「ほっとする笑顔つながるこころの絵」 講演会 「弱さを絆に一べてるの30年の歩みから」 講師 北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科 教授 向谷地 生良 氏 ゲスト 浦河べてるの家のメンバー	延 296 名

##### ② 「ほっとする 笑顔つながる こころの絵」

県民にこころがほっとする絵をはがき大から、四つ切り用紙の大きさまでに描いてもらい、こころの健康やゆとりのある生活を見つめなおしてもらい、機会を提供した。

応募総数134作品の中から8点を審査の結果、入賞作品として選び、「わかやまこころのフェスタ2017」で表彰した（和歌山県精神保健福祉協会と共催）。

##### ③ 精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会

精神障害者がスポーツを楽しむ体力の維持増進をはかることや、仲間とのふれあいを体験する等の社会参加を推進することを目的に実施した。（和歌山県精神保健福祉協会、和歌山県作業療法士会と共催）

開催日・会場	内 容	参加者数
平成29年10月14日 ビッグホエール (和歌山市)	県内5チームが参加し、優勝から4位チームまでを決定した。	選手・役員等 67名

#### ④こころの集い 講演会

県民への精神保健福祉に関する知識の普及とこころの健康づくり推進を目的として実施した(和歌山県精神保健福祉協会と共催)。

開催日・会場	内 容	参加者数
平成 29 年 7 月 12 日 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)	講演 「つまづいたっていいじゃないかにんげんだもの」 ～父 相田みつをを語る～ 講師 相田みつを美術館 館長 相田 一人 氏	66 名

#### (2) 広報出版物等

##### ①和歌山県精神保健福祉センター便り「わかやま」

関係機関への情報提供と県民への啓発のため、保健福祉施設等の紹介、県内の精神保健福祉の最新情報、和歌山県精神保健福祉センターの研修や講演会の案内等を掲載し、年 4 回発行した。

号 数	送付先機関	発行部数
第 7 1 号 (5 月)	2 0 9	4 4 6
第 7 2 号 (8 月)	2 1 1	4 4 9
第 7 3 号 (1 1 月)	2 1 0	4 3 9
第 7 4 号 (2 月)	2 0 9	4 3 9
合 計	8 3 9	1, 7 7 3

##### ②出版物等作成

内 容	部 数
和歌山県精神保健福祉センター所報	1 0 0 冊

##### ③精神保健福祉等に関する図書やビデオの貸し出し 6 回

※自殺対策、ひきこもり事業については、後章に掲載する。

## 4 その他の事業

### セルフヘルプグループ交流会「なごみの会」

セルフヘルプグループ支援のため、グループの運営者を対象とした交流会を行い、グループを運営していく上での悩みの分かち合いや活動状況の情報交換等を実施した。

対 象 セルフヘルプグループの運営を行っている方

場 所 精神保健福祉センター

開催回数 全 4 回

参加延人数 21 名 (6 グループ)

## 5 和歌山県自殺対策情報センター事業

### (1) センターの概要

目 的 自殺対策の総合的な支援機関として、自殺を考えている者、自殺未遂者及び自死者の親族等に対する支援の充実を図るため、相談支援、関係機関との連携強化、普及啓発等の情報発信、専門研修による人材育成に取り組む。

開設日 平成21年9月7日（平成30年4月からは、『自殺対策推進センターとして活動』）

場 所 精神保健福祉センター内

### (2) 平成29年度 自殺対策事業実績

#### ① 自死遺族わかちあいの会

※ 対象 大切な人（家族・知人・友人）を自死で亡くした方

実施回数 9回 参加人数 述べ 48人（実人数20名）

#### ② その他

「わかちあいの会和歌山うめの花」が実施する自死遺族相談と講演会に協力

#### ③ 人材育成・普及啓発

##### ホームページ

自殺対策情報センターのホームページより、県民向けに自殺予防から遺族支援のための各種講演会、相談事業等についての情報を発信した。

## 6 和歌山県ひきこもり地域支援センター事業

### (1) センターの概要

目的 地域のひきこもり支援の核となる支援機関として、保健所やひきこもり者社会参加支援センターと連携しながら、主として、関係機関との連携強化、ひきこもり支援に必要な情報発信、一次相談窓口の充実、人材育成を行う。

開設日 平成21年8月7日

場 所 精神保健福祉センター内

### (2) 平成29年度 ひきこもり対策事業実績

#### ① 関係機関との連携強化

支援体制の充実を目的に各圏域の支援関係者と、ひきこもりに関する情報交換等を行った。

#### ② 情報発信

ホームページ「和歌山県ひきこもり地域支援センター」の運営 他

#### ③ 一次相談窓口

窓口周知、電話相談及び来所相談による相談対応

#### ④ 第2回わかやま若者・ひきこもり者支援交流集会

対象 ひきこもり者やその家族、若者対象の支援者、一般県民等ひきこもりや若者支援に関心のある方

開催日	内 容	参加者数
平成29年10月4日 田辺市民 総合センター	<p>13:00～14:00 基調講演            テーマ：ひきこもりからの回復とは？            ーひきこもり支援のめざすものー            講 師：藤本 圭光 氏            (NPO法人神戸オレンジの会理事長・            神戸市ひきこもり地域支援センターラポールセンター長)</p> <p>14:10 ～ 15:00 シンポジウム            テーマ：私たちの歩み・私たちにとっての回復            ーひきこもり経験者の語りー            聴き手 (コーディネーター)：            野中康寛氏 (麦の郷ハートフルハウス創)</p> <p>語り手： ひきこもり経験者 2名</p> <p>15:15 ～ 16:30 グループ別交流会            A ひきこもり経験者・当事者 B 家族 C 支援者</p>	40名

## ⑤ ひきこもり者及びひきこもり者の家族への支援

### ひきこもり家族教室

対象 ひきこもり者の家族

・東牟婁圏域（開催場所：東牟婁振興局）

開催日	内 容	参加者数
平成29年 7月12日	講演「ひきこもりに向き合って」 講師 林堂 自代 氏 (NPO法人レインボーハウス理事長・ 登校拒否・ひきこもりの子ども・青年を持つ 和歌山県親の会代表)	8 名

### ひきこもり家族のつどい

対象 ひきこもり者の家族

・和歌山市内

場 所 精神保健福祉センター プレイルーム

開 催 数 12回

参加者数 延べ30名（実人数17名）

・新宮市内

場 所 東牟婁振興局 地下第3会議室

開 催 数 6回

参加者数 延べ26名（実人数8名）

### フリースペース

対 象 和歌山県在住のひきこもり状態にある方  
人と関わることに抵抗のある方

場 所 精神保健福祉センター プレイルーム

開 催 数 50回

参加者数 延べ337名（実人数31名）



## 7 薬物依存症対策

違法薬物、危険ドラッグ、処方薬などの薬物乱用・依存者を対象に継続的に個別相談を実施した。

※家族や知人等の継続相談については、今年度は希望者がなく、未実施。

### (1) 薬物依存症個別相談

物質使用障害治療プログラム (SMARPP)、TTM(トランス・セオリティカル・モデル)に基づく変化のステージ治療等を実施。

延べ人数236人 (実人数18人)

内容	延べ	実
覚醒剤	108人	11人
危険ドラッグ	7人	1人
処方薬・市販薬	50人	4人
大麻	51人	1人
有機溶剤	20人	1人

### (2) 薬物依存症グループ相談

物質使用障害治療プログラム (SMARPP) TTM(トランス・セオリティカル・モデル)に基づく変化のステージ治療等を実施。

延べ人数135人 (実人数11人)

内容	延べ	実
覚醒剤	76人	7人
処方薬・市販薬	14人	3人
大麻	45人	1人

## 8 精神保健福祉相談

県民のこころの悩みや精神疾患等に関する健康相談を電話及び面接により実施した。

所内相談は、原則として予約制で実施している。

電話相談は一般回線とこころの電話専用回線、自殺予防相談「はあとライン」、ひきこもり対応相談「いっぽライン」で受けている。さらに特定相談として、医師による思春期・青年期相談、臨床心理士による自死遺族相談を実施している。また、薬物依存症患者やその家族、知人に対する個別相談、グループセッションを行っている。

### (1) 相談方法別件数 (件)

		平成29年度(A)	平成28年度(A)	増減(A-B)
面接相談		365	363	2
電話相談	一般	132	277	-145
	こころの電話	1,350	2,152	-802
	はあとライン	986	670	316
	いっぽライン	137	104	33
	小計	2,605	3,203	-598
総合計		2,970	3,566	-596

### (2) 面接相談

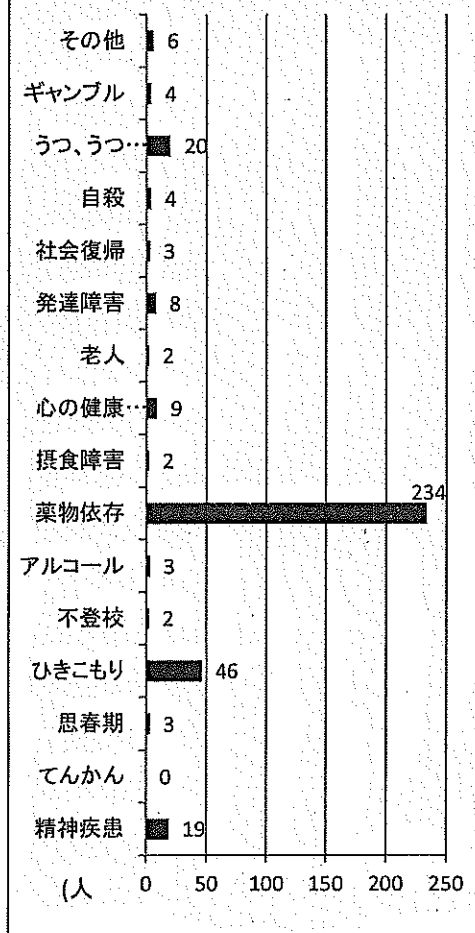
#### ①年齢別相談件数 延件数…( )内は実数 (件)

年齢	男性	女性	不明	合計
0～9	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
10代	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
20代	18 ( 10 )	4 ( 4 )	0 ( 0 )	22 ( 14 )
30代	20 ( 11 )	7 ( 6 )	3 ( 2 )	30 ( 19 )
40代	107 ( 18 )	58 ( 19 )	0 ( 0 )	165 ( 37 )
50代	98 ( 14 )	14 ( 12 )	0 ( 0 )	112 ( 26 )
60代	2 ( 2 )	4 ( 3 )	0 ( 0 )	6 ( 5 )
70以上	4 ( 4 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )	5 ( 5 )
不明	2 ( 2 )	23 ( 3 )	0 ( 0 )	25 ( 5 )
合計	251 ( 61 )	111 ( 48 )	3 ( 2 )	365 ( 111 )

#### ②診断別相談件数 延件数…( )内は実数 (件)

	男性	女性	不明	合計
精神疾患	7 ( 6 )	10 ( 9 )	2 ( 1 )	19 ( 16 )
てんかん	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
思春期	3 ( 3 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	3 ( 3 )
ひきこもり	22 ( 12 )	24 ( 7 )	0 ( 0 )	46 ( 19 )
不登校	1 ( 1 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )	2 ( 2 )
アルコール	1 ( 1 )	2 ( 2 )	0 ( 0 )	3 ( 3 )
薬物依存	183 ( 11 )	51 ( 9 )	0 ( 0 )	234 ( 20 )
摂食障害	0 ( 0 )	2 ( 1 )	0 ( 0 )	2 ( 1 )
心の健康づくり	4 ( 4 )	4 ( 4 )	1 ( 1 )	9 ( 9 )
老人	1 ( 1 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )	2 ( 2 )
発達障害	4 ( 4 )	4 ( 4 )	0 ( 0 )	8 ( 8 )
社会復帰	2 ( 2 )	1 ( 1 )	0 ( 0 )	3 ( 3 )
自殺	1 ( 1 )	3 ( 1 )	0 ( 0 )	4 ( 2 )
うつ、うつ状態	16 ( 9 )	4 ( 4 )	0 ( 0 )	20 ( 13 )
ギャンブル	4 ( 4 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	4 ( 4 )
その他	2 ( 2 )	4 ( 4 )	0 ( 0 )	6 ( 6 )
合計	251 ( 61 )	111 ( 48 )	3 ( 2 )	365 ( 111 )

### 面接相談内容別件数



(3) 電話相談

①年齢別男女別延件数

	男性	女性	不明	計
乳幼児	1	0	0	1
児童	2	1	0	3
思春期	21	14	4	39
成人	1483	978	23	2484
老人	32	27	0	59
不明	5	10	4	19
総合計	1544	1030	31	2605

②保健所管内別男女別延件数

保健所	男性	女性	不明	計
伊都(橋本)	29	140	0	169
那賀(岩出)	22	53	2	77
海草(海南)	153	17	1	171
有田(湯浅)	448	35	0	483
日高(御坊)	4	56	0	60
西牟婁(田辺)	33	34	0	67
東牟婁(串本)	133	4	0	137
(新宮)	13	12	0	25
和歌山	443	424	11	878
県内	89	76	7	172
県外	16	13	2	31
不明	161	166	8	335
総合計	1544	1030	31	2605

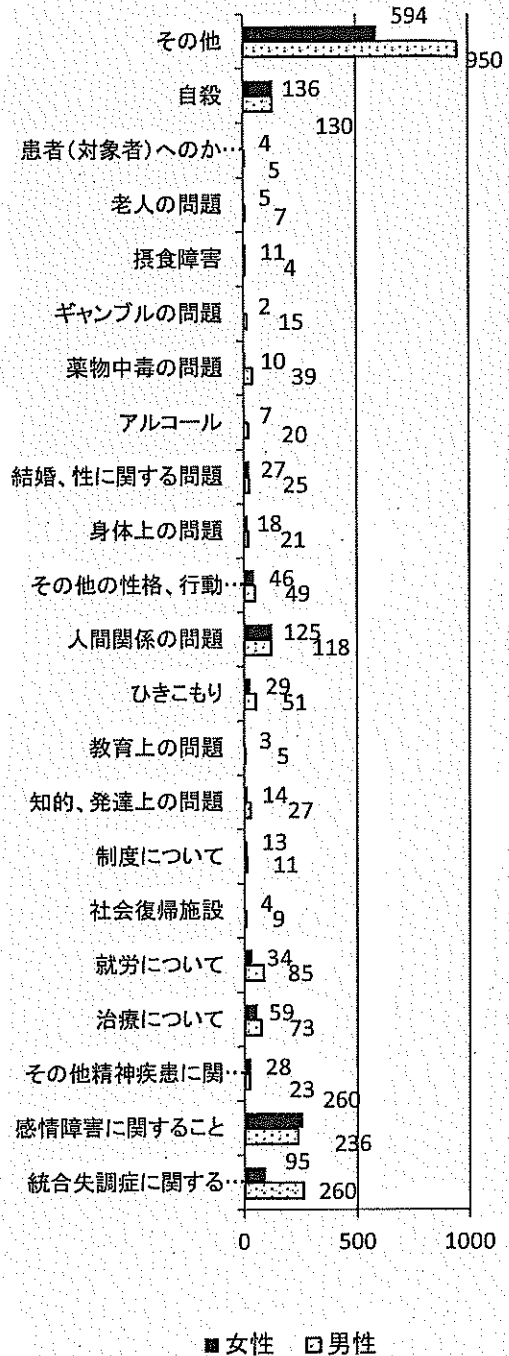
③内容別男女別延件数(複数回答)

相談内容	男性	女性	不明	計
統合失調症に関する事	260	95	1	356
感情障害に関する事	236	260	3	499
その他精神疾患に関する事	23	28	0	51
治療について	73	59	3	135
就労について	85	34	1	120
社会復帰施設	9	4	1	14
制度について	11	13	2	26
知的、発達上の問題	27	14	1	42
教育上の問題	5	3	0	8
ひきこもり	51	29	4	84
人間関係の問題	118	125	4	247
その他の性格、行動上の問題	49	46	3	98
身体上の問題	21	18	0	39
結婚、性に関する問題	25	27	0	52
アルコール	20	7	1	28
薬物中毒の問題	39	10	1	50
ギャンブルの問題	15	2	0	17
摂食障害	4	11	0	15
老人の問題	7	5	0	12
患者(対象者)へのかかわり方	5	4	1	10
自殺	130	136	1	267
その他	950	594	11	1555
計	2163	1524	38	3725

④処遇状況(複数回答)

処遇状況	男性	女性	不明	計
電話カウンセリング・助言	1477	973	27	2477
来所相談を勧める	5	5	0	10
情報提供・紹介	78	91	7	176
かけ直し依頼	4	2	0	6
その他	19	13	1	33
総合計	1583	1084	35	2702

相談内容別・男女別延べ件数



## 9 精神医療審査会

精神保健福祉法第12条の規定に基づいて、和歌山県精神医療審査会は、精神障害者の人権擁護とその適正な医療及び保護を図るため入院の要否及び、処遇の適否に関する審査を行っている。平成29年度の審査状況は表1のとおりである。

(表1) 過去5年の精神医療審査会で審査された件数

年度	医療保護入院届	医療保護入院 定期病状報告書	措置入院 定期病状報告書	退院請求	処遇改善請求
平成25年度	816	467	2	22	2
平成26年度	869	458	1	19	1
平成27年度	925	421	2	24	0
平成28年度	919	422	5	12	1
平成29年度	952	428	2	7	0

平成29年度の精神医療審査会における審査の詳細

区分	前年度届出等の内、未審査分	届出等の件数	審査件数	審査結果				計	取下	退院等の審査要件の消失	審査中	未審査
				入院等は適当	他の入院形態への移行が適当	入院継続不要又は処遇不適切						
医療保護入院の届出 (法第33条第1項)	0	952	952	951	0	0	951			1	0	
定期 の病状 報告	措置入院者	0	2	2	2	0	0	2			0	0
	医療保護入院者	0	428	428	428	0	0	428			0	0
退院請 求	措置入院者	( ) 0	( ) 2	( ) 2	( ) 2	( ) 0	( ) 0	( ) 2	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0
	医療保護入院者	( ) 0	( ) 5	( ) 5	( ) 5	( ) 0	( ) 0	( ) 5	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0
処遇改 善請求	措置入院者	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0
	医療保護入院者	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0	( ) 0
合 計	0	1,389	1,389	1,388	0	0	1,388	0	0	1	0	

( )内は、入院中の者以外から請求があったものを再掲

## 10 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療支給認定に関する事務

精神保健福祉法第45条第1項の規程による精神障害者保健福祉手帳の申請に係る審査及び交付事務を行った。平成29年度の判定実績は、表1及び表2のとおりである。

また、自立支援医療（精神通院）の申請に係る支給認定事務を行った。受給者証交付状況は表3に示す。

### (1)手帳・53条判定会

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療支給認定の申請にかかる専門的な知識及び技術を必要とするもの（診断書による申請）については、所内に判定会を設置し、判定会において審査、決定を行う。

開催回数 24回

### (2)精神障害者保健福祉手帳

一定の精神障害の状態にあることを認定して交付することにより、手帳の交付を受けた方に対し、各方面の協力により各種の支援策が講じられることを促進し、精神障害者の社会復帰の促進と自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。（平成7年に創設された制度）

(表1)精神障害者保健福祉手帳保持者数(平成30年3月31日現在)

保健所名	市町村名	1級	2級	3級	計
和歌山市		247	1,245	1,093	2,585
海南		80	330	258	668
	海南市	70	285	238	593
	紀美野町	10	45	20	75
岩出		91	396	244	731
	紀の川市	54	211	125	390
	岩出市	37	185	119	341
橋本		59	332	206	597
	橋本市	41	259	166	466
	かつらぎ町	13	55	29	97
	九度山町	1	12	7	20
	高野町	4	6	4	14
湯浅		33	245	140	418
	有田市	20	92	59	171
	湯浅町	3	46	31	80
	広川町	5	24	10	39
	有田川町	5	83	40	128
御坊		34	225	159	418
	御坊市	12	95	72	179
	美浜町	4	35	20	59
	日高町	3	17	23	43
	由良町	1	17	11	29
	印南町	2	18	14	34
	日高川町	12	43	19	74
田辺		48	472	522	1,042
	田辺市	25	254	310	589
	みなべ町	4	52	71	127
	白浜町	10	99	73	182
	上富田町	6	57	53	116
	すさみ町	3	10	15	28
串本		38	140	84	262
	古座川町	5	15	5	25
	串本町	33	125	79	237
新宮		49	244	168	461
	新宮市	36	161	121	318
	那智勝浦町	13	71	36	120
	太地町		8	11	19
	北山村		4		4
県内合計		679	3,629	2,874	7,182

(表2)精神障害者保健福祉手帳交付者数(平成29年度分)

	前年度末現在	新規交付		入		出		還
		(年度中)	(年度中)	(年度中)	(年度中)	(年度中)	(年度中)	
1級	668	60	7					60
2級	3,476	280	26			17		166
3級	2,610	521	18			23		145
計	6,754	861	51			40		371
障害の等級の変更(年度中)		年度末現在		認定更新				
	増	減	有効期限切れ(再掲)		(年度中)			
1級	35	15	695		16			291
2級	144	72	3,671		42			1580
3級	40	132	2,889		15			999
計	219	219	7,255		73			2,870

(表3) 自立支援医療(精神通院)受給者証交付状況(平成30年3月31日)

保健所名	市町村名	症状性を含む器質性精神障害	中毒性精神障害	統合失調症圏	気分障害	神経症性障害	生理的要因の障害	成人の人格及び行動の障害	精神遅滞	心理的発達障害	児童・思春期精神障害	てんかん	計
和歌山市		98	92	1,445	1,681	509	16	25	42	179	110	431	4,628
海南		17	14	287	238	45	1	4	18	50	18	78	770
	海南市	15	10	245	217	36	1	4	17	47	17	64	673
	紀美野町	2	4	42	21	9			1	3	1	14	97
岩出		23	26	340	426	91	3	4	3	40	23	98	1,077
	紀の川市	14	16	209	230	51	2	2	1	20	12	51	608
	岩出市	9	10	131	196	40	1	2	2	20	11	47	469
橋本		42	38	453	424	77	5	12	30	47	12	71	1,211
	橋本市	36	28	350	305	60	2	6	24	37	8	50	906
	かつらぎ町	2	9	75	85	11	3	2	5	9	3	14	218
	九度山町	2		15	20	5		3	1			3	49
	高野町	2	1	13	14	1		1		1	1	4	38
湯浅		15	24	349	293	66	2	0	26	22	2	87	886
	有田市	4	9	139	103	21	1		6	10	1	38	332
	湯浅町	4	4	56	71	20	1		3	5		14	178
	広川町	3	3	45	27	7			1			5	91
	有田川町	4	8	109	92	18			16	7	1	30	285
御坊		24	21	386	299	60	6	3	17	15	14	65	910
	御坊市	6	5	156	146	22	2		6	9	10	24	386
	美浜町	5	5	47	37	7			1	1	1	4	108
	日高町	2	3	42	31	10			1		1	4	94
	由良町	4	4	40	21	7	1	2	6	2	1	13	101
	印南町	2	1	32	29	7	1		2	1	1	8	84
	日高川町	5	3	69	35	7	2	1	1	2		12	137
田辺		48	43	802	599	156	6	8	66	170	104	213	2,215
	田辺市	23	26	487	356	96	3	6	38	92	57	133	1,317
	みなべ町	2	8	70	64	9	1		4	10	6	13	187
	白浜町	16	5	140	103	23	2	1	10	13	13	38	364
	上富田町	6	2	80	64	21		1	14	55	26	27	296
	すさみ町	1	2	25	12	7					2	2	51
串本		3	4	126	56	45	2	2	2	11	3	13	267
	古座川町			10	8	1				1			20
	串本町	3	4	116	48	44	2	2	2	10	3	13	247
新宮		19	12	294	167	37	5	1	18	27	7	44	631
	新宮市	13	8	199	99	20	4		15	18	5	24	405
	那智勝浦町	6	4	72	57	13	1	1	2	8	2	13	179
	太地町			15	11	4			1	1		5	37
	北山村			8								2	10
合計		289	274	4,482	4,183	1,086	46	59	222	561	293	1,100	12,595

### Ⅲ 資料

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧











精神障害者に対する保健福祉施策等一覧 ①

団体名	①入居医療費の助成	②通院医療費の助成	③作業所等への通院旅費の助成	④障害者福祉年金・福祉手当の支給	⑤障害・年金等障害者一時金の支給	⑥公営住宅入居の促進費又は家賃の優遇	⑦公営住宅等使用料金の減免	⑧バス・タクシー運賃の助成(⑩以外)	⑨公益財団法人等による文化施設等の利用料金の減免	⑩その他
27 津本町	保護通院医療費自己負担分の費用を助成(手帳1・2級)	保護通院医療費自己負担分の自己負担分の半額を助成(自費医療費を含む)(手帳1・2級)	作業所等への通院の交通費(自宅から市内、市外の地方支庁圏内)に限り、1回あたり10,000円以内(1回あたり10,000円以内)を助成(手帳1・2級)	年間所得が10万円以下の者に対して年間30,000円を支給する。(手帳1級)	障害者年金・障害者一時金の支給	障害者年金・障害者一時金の支給	⑦公益住宅等使用料金の減免	バス・タクシー運賃の助成(⑩以外)	⑨公益財団法人等による文化施設等の利用料金の減免	⑩その他
28 古座川町	入居医療費自己負担分の費用を助成(手帳1級・2級)	通院医療費自己負担分の費用を助成(手帳1級・2級)	古座川町内に住所を有し、該当する交通手段を利用する者で、通院の交通費が20%を超えない限り、交通費を助成(上限月3,000円)	年間所得が10万円以下の者に対して年間30,000円を支給する。(手帳1級・2級)	入居所費を減額(入居料156,000円以下)とする(手帳1級・2級)	入居所費を減額(入居料156,000円以下)とする(手帳1級・2級)		バス・タクシー運賃の助成(⑩以外)	⑨公益財団法人等による文化施設等の利用料金の減免	⑩その他
29 新野町	自立支援医療(精神障害者保健福祉法第119条第2項)の自己負担分の半額を助成(手帳1級・2級)	自立支援医療(精神障害者保健福祉法第119条第2項)の自己負担分の半額を助成(手帳1級・2級)	市内に住所を有し、通院距離が20kmを超える者、通院の1月の合計金額が12,000円を超える場合は、12,000円/月、10%以上17,000円/月を限度とする	年間所得が10万円以下の者に対して年間30,000円を支給する。(手帳1級・2級)	通院は通院入居不可の場合、入居所費を減額(入居料156,000円以下)とする(手帳1級・2級)	通院は通院入居不可の場合、入居所費を減額(入居料156,000円以下)とする(手帳1級・2級)		タクシー基本料(初乗り料)を全額から1割を引いた額(3時間の利用回数2回)を助成(手帳1級・2級)	⑨公益財団法人等による文化施設等の利用料金の減免	⑩その他
30 津本町	保護通院医療費自己負担分の費用を助成(手帳1・2級)	保護通院医療費自己負担分の自己負担分の半額を助成(自費医療費を含む)(手帳1・2級)	作業所等への通院の交通費(自宅から市内、市外の地方支庁圏内)に限り、1回あたり10,000円以内(1回あたり10,000円以内)を助成(手帳1・2級)	年間所得が10万円以下の者に対して年間30,000円を支給する。(手帳1級)	障害者年金・障害者一時金の支給	障害者年金・障害者一時金の支給	⑦公益住宅等使用料金の減免	バス・タクシー運賃の助成(⑩以外)	⑨公益財団法人等による文化施設等の利用料金の減免	⑩その他
31 大井町	通院医療費(後述運用)を助成(手帳1級・2級)	通院医療費(後述運用)を助成(手帳1級・2級)	通院にかかる費用を助成(片道2kmを超えないもの)1,000円(片道2kmを超えないもの)1,000円(自家車両)1,000円(自家車両)1,000円(手帳1級・2級)		入居所費を減額(入居料156,000円以下)とする(手帳1級・2級)	入居所費を減額(入居料156,000円以下)とする(手帳1級・2級)		バス・タクシー運賃の助成(⑩以外)	⑨公益財団法人等による文化施設等の利用料金の減免	⑩その他
32 北山村					入居所費を減額(入居料156,000円以下)とする(手帳1級・2級)	入居所費を減額(入居料156,000円以下)とする(手帳1級・2級)		バス・タクシー運賃の助成(⑩以外)	⑨公益財団法人等による文化施設等の利用料金の減免	⑩その他

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧 ②

平成30年5月1日現在

団体名	①こころの相談事業	②デイケア事業	③その他 3障害合同の事業等
和歌山県	各保健所、精神保健福祉センターで実施		ピアサポーター活用事業 県内6事業所に委託。
和歌山市	和歌山市保健所にて 月2回 精神保健福祉相談 月1回 うつ夜間相談 担当：医師、精神保健福祉相談員		・相談支援事業 担当：委託相談支援事業者(6事業所) ・ボランティア活動支援事業 担当：委託相談支援事業者(1事業所)
海南市			巡回相談 月2回 担当：委託相談支援事業所(3事業所)
紀美野町			相談支援事業 担当：委託相談支援事業者(3事業所)
紀の川市			・相談支援事業 担当：委託相談事業所(1事業所)
岩出市			・相談支援事業 (月曜日～金曜日) 担当：社会福祉士、精神保健福祉士 計3名 ・地域活動支援センター事業(1型) (月曜日～金曜日) 担当：3名
橋本市			橋本市保健福祉センター いきいきルーム 「障がい者の日」月1回有料 第4金曜日 午前
かつらぎ町			
九度山町			
高野町	随時 担当：保健師		
有田市		精神障害者家族会月1回 精神障害者当事者会 月1回 担当：保健師	相談支援事業所 担当：委託相談支援事業所(2事業所)
湯浅町		月1回 担当：保健師 (広川町と合同実施)	
広川町		月1回 担当：市町村保健師 他 (湯浅町と合同実施)	
有田川町	月1回 担当：精神科医師、保健師 清水地区で実施	・清水地区 月1回 担当：保健師 ・吉備地区、金屋地区 月1回 デイケア参加者の自主的な集まり	
御坊市			
美浜町			
日高町			
由良町			
日高川町			
印南町			
田辺市			レクリエーション教室 年24回程度 担当：社会福祉協議会
みなべ町	相談日は設定していないが、必要時に対応。 (保健所主催のこころの相談事業も案内)		相談支援事業所 担当：委託相談支援事業所(3事業所)
白浜町	直接医療機関に予約する 担当：白浜はまゆう病院及び南和歌山医療センター心理相談室職員 (委託事業として実施)		
上富田町			
すさみ町			
串本町			相談支援事業 相談支援事業者に委託(2事業所)
古座川町	相談日は設定していないが、必要時に対応。 (保健所主催のこころの相談事業も案内)		
新宮市			
那智勝浦町		平成25年度より町内相談支援事業所に委託 担当：精神保健福祉士、ボランティア等	
太地町			
北山村			

和歌山県精神保健福祉センター所報

— 平成29年度 —

(平成30年9月発行)

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号  
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階

TEL 073-435-5194 FAX 073-435-5193

ホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/050301/050301/index1.html>